

平成 30 年 12 月 20 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会  
会 長 森 川 英 典

## 第 502 回 構造懇話会 平成 30 年度「50 周年記念新例会」のご案内(再送)

構造懇話会の運営に際しまして、常日頃よりご支援賜り誠に有難うございます。平成 29 年度「50 周年記念式典」、平成 30 年度「50 周年記念大見学会」、平成 30 年度「50 周年記念新例会」は、50 周年の記念行事の一環として開催しています。兵庫県、神戸市及び各会社、団体の関係部局にもご案内をいただき、活発な討議を期待しています。多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 31 年 1 月 24 日 (木) 13:20～16:50

(注；開始時間が早くなっています)

○新例会終了後、懇親会(17:20～19:20)を開催いたします。

2. 場 所 神戸市教育会館 大ホール

神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111

3. 議 題

第Ⅰ部において 50 周年記念の「特別記念講演会」を、第Ⅱ部においては、テーマ「構造懇話会 50 年の過去・現在・未来を考える」を企画しました。

○詳細はプログラムをご参照ください。

[連絡先]

〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-18 住友中之島ビル 13 階

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 西川 啓二

TEL : 06-6479-2136 / FAX : 06-6479-0506 / e-mail : nishikawa@oriconsul.com

[案内図]

□ 印：新例会会場 神戸市教育会館 大ホール  
□ 印：懇親会会場 ラッセホール地下 1F パンジー



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

## 第 502 回 構造懇話会 50 周年記念新例会プログラム

日 程 : 平成 31 年 1 月 24 日 (木)  
時 間 : 13 : 20 ~ 16 : 50  
場 所 : 神戸市教育会館 大ホール

### 記

- 1、ごあいさつ 13:20~13:30  
50 周年記念行事「平成 30 年度新例会の開催にあたって」  
構造懇話会 会長 森川英典
- 2、新例会 第 I 部 特別記念講演 13:30~14:20  
「ヨーロッパにおける鉄およびコンクリートに代わる次世代材料開発と適用例」  
山口大学名誉教授 (スイス連邦工科大学ローザンヌ校 (EPFL) 客員教授)  
宮本 文穂 氏  
休憩 14:20~14:35
- 3、新例会 第 II 部 テーマ「構造懇話会 50 年の過去・現在・未来を考える」
  - (1) 基調講演  
「 創立 30 年頃の構造懇話会を顧みて 」 14:35~14:55  
構造懇話会 第 4 代会長 北村泰寿 氏
  - (2) 会員よりの話題提供 14:55~15:55
    - 個人会員 「構造懇話会の活性化策について」 石原靖弘 氏  
日本ファブテック株式会社
    - 特別会員 「構造懇話会の更なる 50 年を目指して (一先人の知恵に喝采を！)」  
中垣亮二 氏  
(一社) 日本橋梁建設協会
    - 特別会員 「構造懇話会の役割に思うこと」 山上哲示 氏  
株式会社日本工業試験所
    - 団体会員 「構造懇話会に期待すること」 赤木昌詩 氏  
協和設計株式会社
    - 団体会員 「構造懇話会幹事の仕事」 二葉 悟 氏  
高田機工株式会社
  - (3) 公開座談会 15:55~16:45  
本会の新しい旅立ち、未来のあるべき姿を出席者全員で語る「公開座談会」  
「水中トンネルに関する調査委員会の報告」 第 3 代会長 櫻井春輔 氏
- 4、閉会の挨拶 16:45~16:50  
構造懇話会副会長 嵯峨 晃

## 新例会 第Ⅰ部 特別記念講演

「ヨーロッパにおける鉄およびコンクリートに代わる次世代材料開発と適用例」

### ① 講演者

山口大学名誉教授（スイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)客員教授)

宮本 文穂 氏

### ② 講演内容

鉄、コンクリートに代わる次世代材料：UHPFRC (Ultra-High Performance Fiber Reinforced cement-based Composites)開発と普及戦略

①EPFL, Prof. Eugen Brühwiler のコンクリート構造物維持管理の体系化の考え方

②維持管理概念の提案とそれを実現可能な次世代材料開発および検証実験、適用の継続

③開発した新材料のユニークな売り込み方として、特許化せず誰にでもネタ晴らしすることによって UHPFRC の利用をブームにしようとする戦略

## 新例会 第Ⅱ部 テーマ「構造懇話会 50年の過去・現在・未来を考える」

### (1) 基調講演

「創立 30 年頃の構造懇話会を顧みて」

#### ① 講演者

構造懇話会 第4代会長 北村泰寿 氏

#### ② 講演内容

本州四国連絡橋の本格的な技術検討がなされていた時期という時代背景のもとに、構造工学に関する産・官・学の技術交流・情報交換の場として、1967年に構造懇話会は設立された。1998年に明石海峡大橋が開通したのは構造懇話会の創立30年の時期に当たる。1995年には、兵庫県南部地震によって土木構造物は甚大な被害をこうむった。また、バブル経済の崩壊による不況の中、公共工事のコスト縮減が課題となった。このような社会基盤構造物に関わる情勢の中での構造懇話会の活動を、創立30年頃の例会や新例会の演題を通して回顧してみる。

### (2) 会員よりの話題提供

個人会員、特別会員および団体会員様より標記テーマについて話題提供をお願いします。

### (3) 公開座談会

本会の新しい旅立ち、未来のあるべき姿を出席者全員で語る公開座談会です。座談会の前段に第3代会長 櫻井春輔氏より「水中トンネルに関する調査委員会の報告」をお願いします。